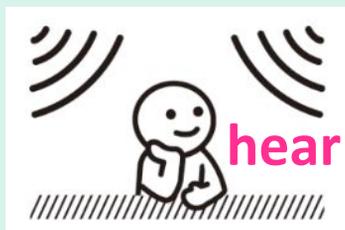
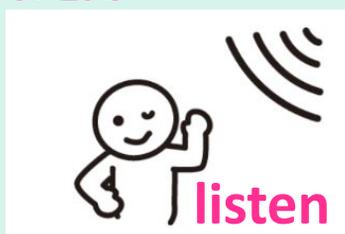


# < 基本動詞 > listen & hearの世界

## CORE IMAGE



聴覚器官がうまく機能して、  
声・音を聞く



耳を傾ける

Hear me out.

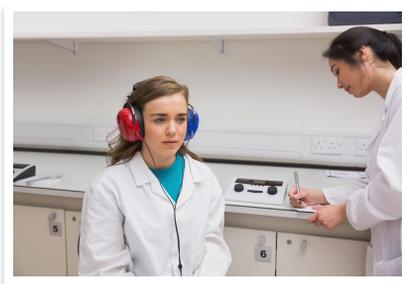


listen と hear は簡単そうでよく間違えます。英語の「聴解力テスト」のことを **a listening comprehension test** といいます。**a hearing test** といえば、耳がちゃんと聞こえるかどうかを調べる聴力検査という意味が普通です。また、listening の場合は、**a listening comprehension test** のように comprehension (理解)を付ける必要があります。「君の聞き間違いだよ」と **You heard me wrong.** であって、You listened to me wrong. とは言いません。listen と hear の違いは何でしょうか？



**a listening comprehension test**

聴解力テスト



**a hearing test**

(耳がちゃんと聞こえるかどうかを調べる)  
聴力検査



You **heard** me wrong.

君の聞き間違いだよ

hear のコアは、「聴覚器官がうまく機能して、声・音を聞く」というものです。

聴覚器官がうまく機能し、ちゃんと何かを聞き届けるということです。だから **a hearing test** だと「聴力検査」になるのです。 **Hear me out.** だと「最後までちゃんと聞いてちょうだい」ということです。「聞こえますか」も **Do you hear me?** といい、「聞き間違いだよ」は間違っって聞き届けたということで、 **You heard me wrong.** といいます。何か音がして、「あれ、聞こえた？」も **Did you hear that?** です。



**Hear** me out.

最後までちゃんと聞いてちょうだい



Do you **hear** me?

聞こえますか



Did you **hear** that?

あれ、聞こえた？

hear は音沙汰があるとかないといった状況でも使い、**I haven't heard from my sister for 3 years.** といえば「妹から3年間音沙汰がない」ということです。3年間、妹からの知らせは何も聞いていない、ということです。



I haven't **heard** from my sister for 3 years.

妹から3年間音沙汰がない

一方、listen のコアは「耳を傾ける」ということです。

通常、耳を傾ける対象を to で表します。耳を傾ける対象を相手に、話を聞いてと促す際に、**Now, listen to me.** といいます。ちゃんと聞いていますかと先生が生徒に確認する場合は、**Are you listening, kids?** となります。**When I was young, I'd listen to the radio.** といえば「若かりし頃、ラジオをよく聴いていたものだ」ということですが、ラジオの方に耳を傾けるのが **listen to the radio** なわけです。通常、音に耳を傾ければ、聞こえてきますが、listen には「理解する」ということは含まれていません。そこで、「聴解力テスト」は **a listening comprehension test** といいます。また、**I listened but I didn't hear anything.** (注意して聞いたが、何も聞こえてこなかった)のような言い方も可能です。あんな奴の言うことなんか聞くなという場合は、耳を傾けるなということなので **Don't listen to such a guy.** となります。



Now, **listen** to me.

話を聞いて



Are you **listening**, kids?

(先生が生徒に)ちゃんと聞いていますか



When I was young, I'd **listen** to the radio.

若かりし頃、ラジオをよく聴いていたものだ



I **listened** but I didn't **hear** anything.

注意して聞いたが、何も聞こえてこなかった



Don't **listen** to such a guy.

あんな奴の言うことなんか聞くな

なお、**Hear my prayer.** (私の祈りをお聞きください)だと(神様に)祈りを聞き届け(かなえ)てほしいという意味合いがありますが、**Listen to my prayer.** だと、親が子に祈りの言葉を教えているという場面が浮かびます。hear には理解する部分までが含まれるため、聞き届けてほしいという意味になるのです。



**Hear** my prayer.

(神様に)私の祈りをお聞きください



**Listen** to my prayer.

(親が子に)私の祈りを聞きなさい